

政策分野	基本的方向性	具体的施策	重要業績評価指標（KPI）			主な具体的事業
			項目	戦略策定時（時点）	現状値（R2年度末）	
分野1【しごとづくり】安定的で魅力ある雇用を創出する						
数値目標		34歳以下の就職率（ハローワーク上越管内、パートを除く常用、雇用期間の定めなし又は4か月以上）	39.8% (H30)	33.5%	45.7%	
		雇用の場が整っていると感じる20代・30代の市民の割合	42.2% (R元)	—	42.2%以上	
A-1 地域産業の活性化						
A-1-1 地域産業の競争力強化と地域内経済循環						
		メイド・イン上越認証品数（累計）	126品 (R元)	140品	176品	1 地域食材を活用した特産品の開発・販路拡大 2 継続的事業経営 3 中小企業融資支援 4 中小企業振興対策 5 発酵のまち上越推進 6 上越地域発のIT事業プラットフォーム 7 地域情報センター構築 8 地域産業トータル支援ネットワーク 9 メイド・イン上越推進 10 雪エネルギーを活用した新産業創出
		雪室食品を商品化する食品関連事業者数	8事業者 (H30)	15事業者	13事業者	
A-1-2 産業誘致とインフラ整備						
		直江津港の外貿定期コンテナの仕向地など	2航路 (H30)	2航路	航路数の増加・コンテナの仕向け地の多様化	1 企業誘致促進 2 直江津港振興 3 都市計画道路黒井藤野新田線整備 4 地域エネルギー活用 5 上越国際ビジネス研究 6 国内外との経済交流促進
		外貿定期コンテナ取扱量（コンテナ取扱個数は、20フィートコンテナ1個に換算した数）	33,097個/年 (H30)	34,060個/年	50,000個/年	
A-1-3 ものづくりを核とした中小企業の成長促進						
		製造品出荷額等	574,963百万円 (H29)	598,153百万円 (H30) ※令和2年度の工業統計調査の公表後に把握予定 ※昨年度の同調査は令和3年3月下旬ころ公表	706,283百万円	1 中小企業研究開発支援 2 企業支援コーディネート 3 上越ものづくり協議会支援 4 上越ものづくり企業データベース 5 ものづくり人材育成 6 見本市等出展 7 設備投資促進
		製造業従業員数	16,686人 (H29)	17,295人 (R元) ※令和2年度の工業統計調査の公表後に把握予定 ※昨年度の同調査は令和3年3月下旬ころ公表	18,064人	
		新商品・新技術の開発・市場化の支援件数	4件/年 (H30)	4件/年	5件/年	

政策分野	基本的方向性	具体的施策	重要業績評価指標（KPI）				主な具体的事業
			項目	戦略策定時（時点）	現状値（R2年度末）	目標（R6）	
	A-1-4 農業の競争力強化と担い手確保		認定農業者等の担い手への農地集積率	68.4% (H30)	68.6%	90.0%	1 新品種・新技術による地域農業の競争力強化 2 農産物販売促進 3 発酵のまち上越推進 4 地域食材を活用した特産品の開発・販路拡大 5 6次産業化 6 水田農業推進 7 園芸振興 8 担い手育成確保支援 9 地域農業の担い手育成・確保 10 農業経営安定化支援 11 農業と科学技術に対する市民理解の向上
			認定農業者数	1,150人 (H31.4)	991人	1,040人	
			新規就農者数	38人/年 (H30)	22人/年	31人/年	
			A-2 多様な働く場の創出				
	A-2-1 若者の定着促進と就労支援		高校新卒者の地元就職割合	73.9% (H30)	73.6%	80.0%	1 新品種・新技術による地域農業の競争力強化 2 キャリア・スタート・ウィーク推進 3 インターンシップ促進 4 若者就職支援 5 若者のしごと定着支援 6 UIJターン促進 7 自立支援 8 中小企業等への使いやすいAI・IoT等の活用支援 9 上越地域発のIT事業プラットフォーム 10 地域情報センターの構築
			インターンシップを受け入れている市内企業の割合	60.0% (H30)	集計中 ※R2年度の割合については、6月頃把握予定	50.0%	
			A-2-2 多様な人材が活躍できる職場環境づくりと就労支援				
			子育て中の女性の就職率（ハローワーク上越マザーズコーナーにおける就職率）	42.7% (H30)	46.1%	44.5%	1 女性の就労支援 2 看護職の復職支援 3 農福連携障害者就労支援 4 障害者雇用対策 5 障害者就労支援 6 高齢者就労支援 7 勤労者福祉 8 創業促進 9 M&A等業務に係る関連企業との連携
			創業実現件数	72件/年 (H30)	84件/年 (R元) ※R2年度の件数については6月頃把握予定	72件/年	
	分野2【結婚・出産・子育て】若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境を整える						
数値目標	合計特殊出生率		1.51 (H30)	1.54 (R元) ※令和2年度人口動態統計の概況の公表後に把握予定 ※昨年度の同統計は6月下旬ころに新潟県を通じて公表された。	1.68		
	出産や子育てがしやすいと感じる20代・30代の市民の割合		70.0% (R元)	—	70.0%以上		

政策分野	基本的方向性	具体的施策	重要業績評価指標（KPI）				主な具体的事業
			項目	戦略策定時（時点）	現状値（R2年度末）	目標（R6）	
	B-1 仕事と生活が調和した社会の形成	B-1-1 ワーク・ライフ・バランスの更なる推進					1 仕事と生活が調和したまちづくりの推進 2 ワーク・ライフ・バランスの推進 3 男女共同参画の推進
		市内企業におけるハッピー・パートナー企業登録制度の登録数	55件（H30）	67件	73件		
		協議会参加団体（※）により新たに創出（刷新）されたワーク・ライフ・バランスの趣旨を踏まえた研修、家族参加型イベントの件数	1件/年（H30）	5件/年	2件/年		
	B-2 結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境づくり	B-2-1 自然な出逢いと結婚の希望の実現	婚姻率	4.0（H30）	4.1（R1） ※令和2年度人口動態統計の概況の公表後に把握予定 ※昨年度の同統計は6月下旬ころに新潟県を通じて公表された。	4.0	1 若者が参加するイベント等がある全ての取組 2 若者の出会いサポート 3 異業種交流会 4 男女共同参画の推進
			協議会参加団体（※）により新たに創出（刷新）された若者参加型の研修、イベントの件数	2件/年（H30）	6件/年	2件/年	
			B-2-2 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援				
		子育てジョイカードの年間発行世帯数	2,754世帯（H30）	2,560世帯	2,446世帯	1 子育て世代の交流促進 2 子育て・子どもの育ちに関する学習・啓発 3 こころと身体の健康相談 4 すこやかな子どもの育ちのための親支援 5 妊産婦・子ども医療費助成 6 企業保育園の推進 7 公立保育所施設整備 8 ファミリーヘルプ保育園運営費 9 病児・病後児保育室運営費 10 放課後児童クラブ運営費	
		待機児童数	0人（H30）	0人	0人		
		B-2-3 すこやかな育ちへの支援の充実					
	児童生徒の標準学力検査の偏差値	中学校2年英語のみ全国平均と同程度であるが、他は全学年・全教科で全国平均を上回る。（H30）	標準学力検査は新型コロナウイルス感染症の影響により中止	小学校の各教科の偏差値平均53以上 中学校の各教科の偏差値平均52以上	1 小・中学校学力向上対策 2 フリースクール等利用支援補助金 3 児童発達支援 4 教育補助員配置 5 LD（学習障害）指導員の配置 6 すこやかな育ち総合支援 7 学校訪問カウンセラーによる教育相談の実施		
	学校が楽しいと感じる児童生徒の割合	小学6年生88.2% 中学3年生84.5%（H29）	データは全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙による。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止	小学6年生95.0% 中学3年生90.0%			

政策分野	基本的方向性	具体的施策	重要業績評価指標（KPI）				主な具体的事業
			項目	戦略策定時（時点）	現状値（R2年度末）	目標（R6）	
		B-2-4 地域ぐるみの子育ての推進				1 コミュニティ・スクール 2 小・中学校夢・志チャレンジスクール 3 企業・事業者による教育支援 4 ふるさと絆プロジェクト 5 ファミリーサポートセンター運営 6 社会科副読本編集 7 教育コラボ学び愛フェスタ開催 8 地域青少年育成会議活動支援 9 地域学校協働本部	
		ファミリーサポートセンターの依頼会員数と提供会員数の比率	54.1% (参考：依頼会員 516人、提供会員 279人) (H31.3)	57.4%	54.1%以上		
		地域青少年育成会議事業等への地域住民の参加者数	174,586人/年 (H30)	120,807人/年	181,000人/年		
		B-2-5 上越の子育て環境の魅力発信					
		まち・ひと・しごと創生推進協議会SNSの子育て環境に関する情報の投稿数	12件/年 (H30)	18件/年	36件/年		
		市と協議会参加団体(※)が発信する子育て支援に関するSNSのフォロー数	1,056人 (R元.11)	1,553人	1,556人		
分野3【まちの活性化】時代に合った地域を形成し、地域間連携を活発化させる							
数値目標	休日滞在人口率（滞在人口÷国勢調査人口） ※滞在人口…休日の14時に当市に滞在していた人数		1.04 (H30)	1.03 (R元) ※地域経済分析システム（RESAS）の滞在人口データ公表後に把握予定	1.04以上		
	上越市を暮らしやすいと感じる20代・30代の市民の割合		77.6% (R元)	—	77.6%以上		
C-1 多様な地域特性の磨き上げと活用							
C-1-1 中心市街地の都市機能の強化と魅力の向上							
	拠点施設の入館者数 直江津…直江津学びの交流館、ライオン像のある館、直江津ショッピングセンター 高田…町家交流館高田小町、高田まちかど交流館、あすとびあ高田、イレブンプラザ		953,404人 (H30 直江津) 1,128,338人 (H30 高田)	705,772人 (直江津) 582,116人 (高田) ※R2.4～R3.1現在（ただし、あすとびあのみR2.9まで） ※R2年度末の入館者数は6月頃に把握予定	954,000人以上 (直江津) 1,129,000人以上 (高田)	1 まちなか居住推進 2 まちなか高度利用整備 3 空き店舗等利用促進 4 中心市街地活性化推進 5 城下町高田の歴史・文化をいかした回遊性向上 6 鉄道資産をいかしたまちづくり	
	立地適正化計画の誘導重点区域内における65歳未満の人の区域外への転居数		313人/年 (H30)	334人/年	295人/年以下		
C-1-2 農山村の暮らしを支える機能の確保と魅力の向上							
	地域支え合い事業を運営する住民組織数（累計）		22団体 (H31.4)	24団体	25団体	1 地域商業支援 2 自主防災組織の結成促進及び活動支援 3 地域おこし協力隊を活用した集落支援 4 地域支え合い体制づくり 5 地域特性をいかした農山村集落活性化 6 上越市ふるさと暮らし支援センター 7 生活支援体制整備 8 地域の包括的支援 9 中山間地域等活性化対策（農林水産部門）	
	地域マネジメント組織の設置・取組		市内12の組織において中山間地域の活性化に向けた取組が行われている状態 (H30)	取組内容にばらつきがあるものの、各地域の維持、再生に向けた取組が継続されている状態	各地域の維持、再生に向けた取組が継続されている状態		

政策分野	基本的方向性	具体的施策	重要業績評価指標（KPI）				主な具体的事業
			項目	戦略策定時（時点）	現状値（R2年度末）	目標（R6）	
		C-1-3 都市のストックの活用促進					
		高田区の町家区域における社会減の解消数	0人/年（H30）	36人/年	10人/年	1 歴史資源活用推進 2 歴史的建造物等整備支援 3 空き家等管理促進 4 雁木の街「越後高田」の街なか遺産を活用した文化観光・百年体験 5 高田世界館を活用した街の活性化と交流人口UP計画 6 歴史的旧家などの古民家活用 7 歴史的資産のリノベーション促進	
		協議会参加団体（※）により新たに創出（刷新）された雁木・町家に関するイベントの件数	2件/年（H30）	7件/年	2件/年		
		C-2 地域活動の担い手確保と活性化					
		C-2-1 まちづくりへの参画とまちへの愛着醸成					
		NPO・ボランティアセンターのボランティアコーディネート数	133件/年（H30）	20件	133件/年	1 公民館事業を通じた意識の啓発 2 まちづくり・地域づくりを担う人材育成 3 謙信KIDSプロジェクト 4 消費者参加型農業体験・視察ツアー 5 食育の推進 6 公募型地域貢献 7 ふるさと絆プロジェクト 8 地域学習塾の開催 9 まちづくり市民大学 10 農業と化学技術に対する市民理解の向上	
		公民館が行う講座を受講したことにより、地域づくりに関する行動等につながった受講者の割合	-	58.0%	50.0%		
		Instagramにおける「#上越」をつけた投稿数	約32,000件/年	61,100件/年	40,841件/年		
		C-2-2 まちづくり・地域づくり活動への支援体制の強化					
		NPO・ボランティアセンターの市民活動団体の登録団体数（累計）	255団体（H30）	251団体	255団体	1 住民組織活動基盤整備 2 地域コミュニティ活動サポート 3 地域活動支援 4 市民活動推進 5 町内会長まちづくりの集い 6 地域活動フォーラム 7 住民組織の基盤強化 8 多様な地域特性をいかした地域づくり活動支援 9 地域づくり活動の事業化支援	
		協議会参加団体（※）（市民団体に限る）により新たに創出（刷新）された団体の収入につながるイベント・サービス等の件数	0件/年（H30）	9件/年	2件/年		
		C-3 地域と地域を結ぶつながりの強化					
		C-3-1 公共交通の利便性向上と利用促進					
		路線バス・乗合タクシー・スクールバス混乗の利用者数	1,497,000人/年（H30）	1,482,305人/年（R1） ※R2年度の利用者数については7月頃把握予定	1,487,000人/年	1 バス運行対策 2 並行在来線対策 3 上越市地域公共交通活性化協議会 4 公共交通の利便性向上と利用促進	
		在来線鉄道の利用者数（ほくほく線、えちごトキめき鉄道） ※1km当たりの1日平均旅客輸送人数	3,034人/日（ほくほく線：1,395人/日（H30） トキ鉄：1,639人/日（H30））	2,861人/日（ほくほく線：1,293人/日 トキ鉄：1,568人/日）（R1） ※R2年度の利用者数については7月頃把握予定	2,809人/日（ほくほく線：1,240人/日 トキ鉄：1,569人/日）		

政策分野	基本的方向性	具体的施策	重要業績評価指標（KPI）				主な具体的事業
			項目	戦略策定時（時点）	現状値（R2年度末）	目標（R6）	
		C-3-2 地域内の交流促進と魅力発信					
		文化財の公開・活用を図る出前講座や体験学習事業への参加者数	4,110人/年（H30）	2,574人/年	4,544人/年	1 協議会活動による地域内交流 2 地域と地域を結ぶストーリーづくり 3 地域の歴史的・文化的資源の保存と継承 4 「弥生のムラ」コミュニティパーク 5 文化財の保存整備	6 春日山城跡の保存整備 7 小林古径記念美術館増改築 8 景観づくりの推進 9 高田公園の整備 10 広報上越の活用
		上越観光Naviの総ページビュー数	1,009,687件/年（H30）	695,167件/年	1,600,000件/年		
		C-4 交流人口の拡大による自立したまちづくり					
		C-4-1 観光コンテンツの充実と各担い手の観光マインドの底上げ					
		市内への観光客入込数	5,176,854人/年（H30）	5,398,033人/年（R1） ※R2数値はR3.11確定	5,830,000人/年	1 田舎体験推進 2 ふるさと交流 3 インバウンド推進 4 上越地域連携 5 観光インフォメーション利用環境整備 6 魅力ある観光地域づくり 7 雁木の街「越後高田」の街なか遺産を活用した文化観光・百年体験	8 花のまち高田プロジェクト 9 上越妙高駅から主要観光地への動線解析 10 高田世界館を活用した街の活性化と交流人口UP計画 11 歴史的旧家などの古民家活用 12 観光地域づくり実践 13 住民組織の基盤強化
		C-4-2 コンベンション誘致による多様な交流機会の拡大					
		全国規模（※）のスポーツ大会の誘致件数 （※）全国大会のみ（北信越大会は含まず）	2件/年（H30）	1件/年	6件/年	1 コンベンション活動強化 2 体育施設整備 3 地区別各種団体等支援 4 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進	
		100人以上の宿泊（※）を伴うコンベンションの誘致件数 （※）「上越観光コンベンション協会コンベンション開催補助金」の国内コンベンションにおける交付要件	12件/年（H30）	2件/年	17件/年		
分野4【UIJターンとまちの拠点性】多様な人の流れやまちを担う人を創出する							
	数値目標	転入者数	4,246人（H26～H30の平均値）	4,221人	4,246人以上		
		今後も上越市に住み続けたいと感じる20代・30代の市民の割合	60.5%（R元）	—	60.5%以上		
		D-1 若者等の定住・UIJターンの促進					
		D-1-1 若者等の定住・UIJターンの促進					
		移住希望者からの相談対応件数	113件/年（H30）	82件/年	134件/年	1 ふるさと上越ネットワーク 2 上越出身者とのつながり強化 3 新規学校卒業予定者等に対する就職支援 4 定住促進奨学金貸付 5 上越市ふるさと暮らし支援センター	6 地域資源・地域特性をいかした移住促進 7 UIJターン促進 8 金融機関による課題解決支援 9 移住者のネットワーク化と交流の場づくり
		市の移住関係制度等を利用した移住者数	14組・19人（H30）	41組・67人	43組・62人		

政策分野	基本的方向性	具体的施策	重要業績評価指標（KPI）			主な具体的事業
			項目	戦略策定時（時点）	現状値（R2年度末）	
	D-2	まちの総合力の強化による求心力の向上				
	D-2-1	まちの拠点性の強化				
		上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会のSNSフォロワー数	1,319人 (R元. 9)	2,268人	2,819人	1 全ての取組 2 協議会SNSの発信
		市と協議会参加団体(※)が新たに着手した未来技術に関する取組の件数	-	集計中 ※R2年度の件数は6月頃把握予定	2件/年	
	D-3	まちを担う若者人材の育成と交流				
	D-3-1	若者の人材育成と交流促進				
		市が主催、共催、後援する若者が参加対象の事業の件数	26件/年 (H30)	24件/年	56件/年	1 高校生ビジネスプラン・グランプリ 2 地域再生を担う若者の人材育成 3 城下町高田リノベーションまちづくり
		市が共催、後援する若者が参画する事業の件数	6件/年 (H30)	3件/年	16件/年	4 まちづくり市民大学 5 全ての取組
	D-3-2	外部人材の活躍				
		市と大学の連携及び地域と大学の連携の件数（累計）	59件 (H30)	59件	75件	1 域学連携推進 2 公募型地域貢献 3 外国人留学生の雪国宿泊体験 4 市民公開講座及び大学連携公開講座 5 看護大学いきいきサロン 6 大学による出前講座

※協議会参加団体…ここでは、上越市を除く。